

作品のテーマ：生え替わり

私は、花々や植物が好きでそれをモチーフにしたデザインやジュエリーを作ってきました。また、花言葉にも興味があり、今回は今年旅立つ春へ向けての想いを込めた花を中心にデザインしました。

私にとって、今年の春はとても不安で怖いものです。前向きな志やポジティブな考えなどはほんの僅かなものですので、ムスカリの『失意』『失望』、カスミソウの『切なる思い』などを取り入れました。ですが、それでも将来の希望を諦めたくないのも事実です。だから、サンキライの『不屈の精神』も取り入れました。

そして、今回の作品にはもう一つモチーフを入れています。それは、鹿の角です。鹿には周期的に角が生え替わることから時の経過の新生のシンボルという意味があるそうです。

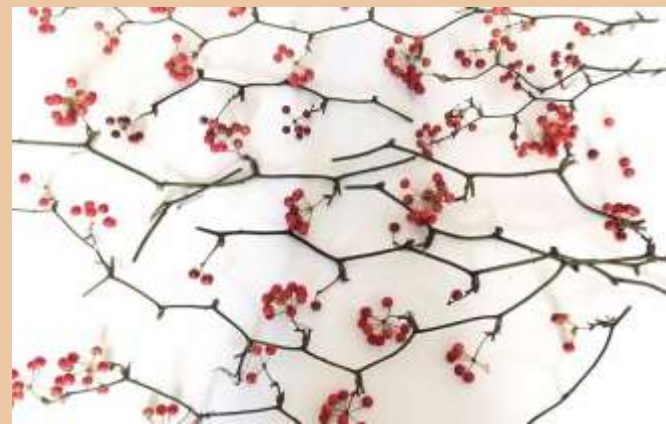
その意味から先ほどのネガティブな花言葉を持つ花をこれから生え替わる様にと鹿の角をモチーフにしたものに花々を足したのを作りました。



https://media-01.creema.net/user/2737457/exhibits/6002581/0_d0cf2d91fbf4252587ef1ac491a2cb90_500.jpg



https://lovegreen.net/wp-content/uploads/2018/02/DSC_0164-1024x683.jpg



https://lovegreen.net/wp-content/uploads/2016/12/15609137_1232427010175993_1814796834_o.jpg



https://item-shopping.c.yimg.jp/i/usagi-shop_lic-kem-079

デザイン

アイテムは、ヘッドアイテムです。それは、鹿の角をモチーフにしている事から角は頭にあるものという考えからそうしました。まず、ネガティブな意味合いを持った花を生え替わるように鹿の角をモチーフにした装飾と一緒に付けます。

ですが、サンキライの『不屈の精神』は持ち続けたいという意味があるので頭の装着アイテムにデザインとして他の花々とは違う場所に取り入れたデザインにしました。

素材

silver950

加工技術

今回は、多くの草花を中心としたデザインなために自然的な曲線や形を表すために地金から作るのではなく、草花をワックスペーパーやワックス粘土から形を作り、それを鑄造に出し地金にしました。

そして、土台は学園祭で得た知識、石枠で使用した技術を応用して作っていきました。

土台と、鑄造した草花を三年で学んだカシメの技術を取り入れ固定し、ろう付けを段階を踏みながらしていきました。

磨きは、頭に固定するパーツを磨き、装飾部分となる角をモチーフとしたのは隅々まで磨のは範囲も構造的にの難しい課題でしたので、白仕上げくにして固定パーツとの対比を表現しました。